

KAGA ELECTRONICS
CO., LTD.

**2022年3月期（第54期）
第2四半期 決算説明会資料**

加賀電子株式会社
2021年11月25日

加賀電子の川村です。平素より格別のお引き立てを賜りまして、誠にありがとうございます。
それでは、私から2022年3月期第2四半期の決算の内容について、ご説明申し上げます。

2022年3月期第2四半期 サマリー

2022年3月期 第2四半期実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上高は、需要回復を背景に電子部品事業がけん引して増収。 ● 営業利益は、売上増に伴う売上総利益増に加え、テレワークやオンライン会議などの活用促進や経費抑制に努め大幅増益。2Q（6ヶ月）として最高益更新。 ● 四半期純利益は、前期に特別利益として計上した企業買収に伴う「負ののれん発生益（79.6億円）」の解消により減益。
主なセグメントの 概況	電子部品 <ul style="list-style-type: none"> ● 部品販売ビジネスは、電子部品の需給逼迫が続くなか、調達力の強みを活かして物量を確保。旺盛な需要を追い風に増収。 ● EMSビジネスは、車載や産業機械、医療向けが好調。
	情報機器 <ul style="list-style-type: none"> ● 教育機関向けPC販売、セキュリティソフトなどのPC周辺機器販売は1Qから好調を継続。 ● リモートワーク向けPC販売の反動減、LED・ネットワーク機器設置ビジネスでの製品・資材納期遅延により工期延伸し減収。
2022年3月期 業績予想	<ul style="list-style-type: none"> ● 2Qまでの当初計画を上回る順調な進捗を踏まえつつ、3Q以降は電子部品の需給逼迫に伴う機会損失リスク、物流費高騰の影響等を慎重に織り込む。 ● 売上高は据え置き。営業利益は20億円増、3期連続最高益更新を目指す。
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間配当、期末配当ともに期初予想から5円増配し、1株当たり45円に修正。 ● 年間配当1株当たり90円は、前期実績80円から10円増配。



まず、売上高は、需要回復を背景に電子部品事業がけん引し、増収となりました。営業利益は、売上増に伴う売上総利益増に加えて、テレワークやオンライン会議などの活用促進や経費抑制に努め、大幅増益となりました。第2四半期としては過去最高益を更新しています。四半期純利益は、前期に特別利益として計上した企業買収に伴う負ののれん発生益、79億6,000万円が解消しており、減益となっています。

次に主なセグメントの概況です。

電子部品事業については、部品販売ビジネスにおいて電子部品の需要逼迫が続く中、調達力の強みを生かして物量を確保し、旺盛な需要を追い風に増収となりました。EMSビジネスは車載や産業機械、医療向けが好調でした。

次に、情報機器ビジネスです。教育機関向けPCの販売や、セキュリティソフトなどのPC周辺機器販売は第1四半期からの好調を継続しました。しかしながら、リモートワーク向けPC販売の反動減、LED・ネットワーク機器設置ビジネスでの製品資材納期遅延により工期延伸し、減収となっています。

2022年3月期の業績予想は、第2四半期までの当初計画を上回る順調な進捗を踏まえつつ、第3四半期以降は、電子部品の需給逼迫に伴う機会損失リスク、物流費高騰の影響等を慎重に織り込んでいます。この結果、売上高は据え置き、営業利益は20億円増、3期連続最高益の更新を目指しています。

株主還元は、中間配当、期末配当ともに期初予想から5円増配し、1株当たり45円に修正しました。これにより年間配当1株当たり90円は、前期実績80円から10円の増配となります。

2022年3月期第2四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2021/3期 2Q実績		2022/3期 2Q実績		前年比	2022/3期 業績予想 (2021年5月13日公表)		進捗率
売上高	188,859		223,009		18.1%	470,000		47.4%
売上総利益	21,641	11.5%	27,133	12.2%	25.4%	-	-	-
販売費及び一般管理費	17,206	9.1%	18,832	8.4%	9.4%	-	-	-
営業利益	4,434	2.3%	8,300	3.7%	87.2%	13,000	2.8%	63.9%
経常利益	4,338	2.3%	8,452	3.8%	94.8%	12,000	2.6%	70.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,772	5.7%	5,624	2.5%	▲47.8%	8,000	1.7%	70.3%
EPS	392.30		207.39		-	291.20		-
為替レート	米ドル	106.92	-	109.80	-	-	110.50	-

※2022/3期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。
2022/3期2Q実績では、売上高23億58百万円、営業利益、経常利益、および税金等調整前四半期純利益で15百万円、それぞれ減少しております。



2

2022年3月期の第2四半期の売上高の実績値は、2,230億900万円となり、前年比18.1%増でした。

売上総利益は271億3,300万円、前年比25.4%増となりました。売上総利益率は12.2%となり、前年比0.7ポイント改善しています。販売費および一般管理費は、188億3,200万円、前年比9.4%増となっています。

営業利益は、83億円となり、前年比87.2%増。経常利益は、84億5,200万円、前年比94.8%増となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、56億2,400万円、前年比47.8%減となっています。この結果、EPSは207円39銭となります。

2022年3月期の業績予想を5月13日に発表していますが、こちらと比較をしますと、売上高は4,700億円と発表していますので、進捗率は47.4%となります。営業利益は、130億円を発表しておりましたので、63.9%の進捗率。

経常利益は、120億円と発表していますので、進捗率70.4%。四半期純利益は、80億円と発表しましたので、進捗率70.3%となっています。

2022年3月期第2四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2021/3期 2Q実績	2022/3期 2Q実績	前年比	2022/3期 業績予想 (2021年5月13日公表)	進捗率
電子部品	売上高	156,887	194,406	23.9%	404,000	48.1%
	セグメント利益	3,083 2.0%	7,123 3.7%	131.1%	9,900 2.5%	72.0%
情報機器	売上高	23,192	18,713	▲19.3%	45,000	41.6%
	セグメント利益	1,160 5.0%	910 4.9%	▲21.6%	2,300 5.1%	39.6%
ソフトウェア	売上高	1,274	1,237	▲2.9%	3,000	41.3%
	セグメント利益	86 6.8%	▲109 -	-	300 10.0%	-
その他	売上高	7,505	8,651	15.3%	18,000	48.1%
	セグメント利益	36 0.5%	320 3.7%	787.3%	500 2.8%	64.1%
合計	売上高	188,859	223,009	18.1%	470,000	47.4%
	セグメント利益	4,434 2.3%	8,300 3.7%	87.2%	13,000 2.8%	63.9%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。



続きまして、セグメント別の内訳をご説明申し上げます。

電子部品事業は、売上高1,944億600万円となり、前年比23.9%増となっております。セグメント利益は、71億2,300万円となり、131.1%増となっております。

情報機器事業は、売上高187億1,300万円となり、19.3%減。セグメント利益は9億1,000万円となり、21.6%減となっております。

ソフトウェアは、売上高12億3,700万円となり、前年比2.9%減。セグメント利益は1億900万円の損失となっております。

その他事業は、売上高86億5,100万円となり、前年比15.3%増。セグメント利益は3億2,000万円となり、こちらは787%増となっております。

全体に占める電子部品事業の割合は87%、情報機器は8.4%で、この二つの事業により全体の95%の売上高を占めております。

2022年3月期第2四半期 M&Aの影響

* エクセルの2021/3期2Q実績には同社海外子会社の2020年1-3月期実績を含ませず

(単位: 百万円)

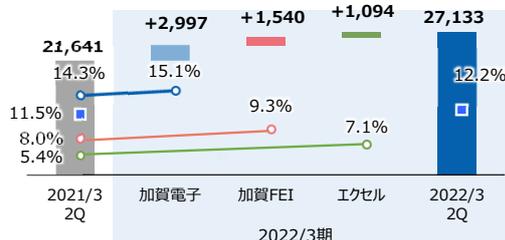
売上高

3社ともに増収。前年エクセルは海外子会社1-3月期が非連結*



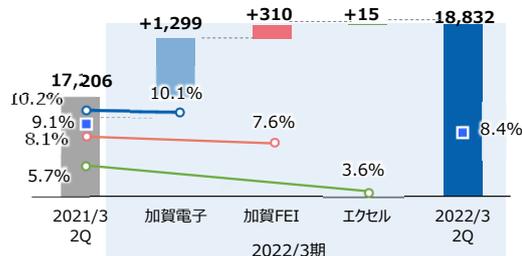
売上総利益 / 売上総利益率

売上増に伴う利益増、利益率改善により3社ともに増益。



販管費 / 販管費率

売上増に伴い経費増となるも、販管費率は3社ともに改善



営業利益 / 営業利益率

加賀電子は利益率大幅上昇。加賀FEI、エクセルともに黒字転換



(注) 売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は▲146百万円、営業利益は▲135百万円です。

4

次に第2四半期の実績における、M&Aをしてきました会社の影響について、ご説明申し上げます。

売上高は、341億5,000万円。前年同期に比べると増収となり、この内訳は、従来からの加賀電子グループで147億3,700万円、加賀FEIが85億2,000万円、エクセルが108億9,100万円の増収となりました。

売上総利益は54億9,200万円の増益となっており、この内訳は従来の加賀電子グループが29億9,700万円、加賀FEIが15億4,000万円、エクセルが10億9,400万円の増益となっています。

売上総利益率は、グループ全体では12.2%となり、前年同期に比べると0.7ポイント改善しています。内訳では、従来の加賀電子グループが15.1%で、前年同期に比べて0.8ポイントの増加。加賀FEIは9.3%となり、1.3ポイントの増加。エクセルは7.1%となり1.7ポイントの増加と、3社ともに利益率が改善しています。

この結果、営業利益が38億6,600万円増加し、内訳は、従来の加賀電子グループが17億8,200万円の増益、加賀FEIが11億5,200万円の増益、エクセルが10億7,200万円の増益となっています。

2022年3月期第2四半期 会社別業績

(単位：百万円)

		2021/3期 2Q実績		2022/3期 2Q実績		前年比
加賀電子	売上高	110,535		125,272		13.3%
	売上総利益	15,853	14.3%	18,850	15.1%	18.9%
	営業利益	4,619	4.2%	6,402	5.1%	38.6%
加賀FEI	売上高	59,720		68,240		14.3%
	売上総利益	4,784	8.0%	6,325	9.3%	32.2%
	営業利益	▲84	▲0.1%	1,067	1.6%	—
エクセル	売上高	18,604		29,495		58.5%
	売上総利益	1,009	5.4%	2,103	7.1%	108.4%
	営業利益	▲106	▲0.6%	966	3.3%	—
合計	売上高	188,859		223,009		18.1%
	売上総利益	21,641	11.5%	27,133	12.2%	25.4%
	営業利益	4,434	2.3%	8,300	3.7%	87.2%

(注) 売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。

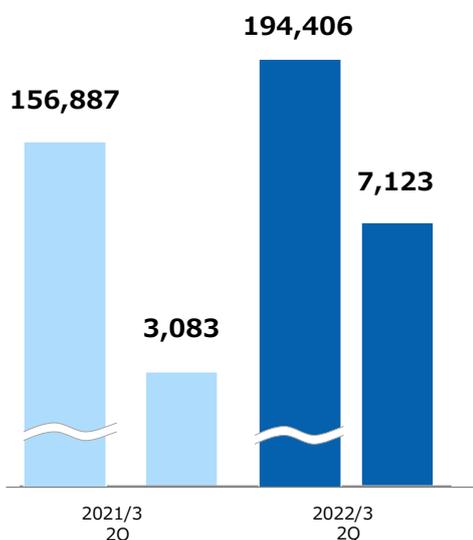
5ページに加賀電子、加賀FEI、エクセル、3社の売上総利益、営業利益、それぞれ数値を掲載、比較していますので、ご覧ください。

2022年3月期第2四半期：電子部品事業

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

前年比



- 売上高 ▶ **+37,519百万円 23.9%増**
- セグメント利益 ▶ **+4,040百万円 131.1%増**

・部品販売ビジネスは、半導体や電子部品の需給逼迫が続くなか、独立系商社としての調達力の強みを活かして、広範な業界からの旺盛な需要を追い風に増収。

・前期に買収したエクセルの海外子会社における決算期調整に係る増収効果あり。

・EMSビジネスは、車載関連や産業機械、医療向けなどが引き続き好調に推移。



続きまして、電子部品事業の概要をご説明申し上げます。

電子部品事業は、売上高375億1,900万円の増収、セグメント利益は40億4,000万円の増益でした。

この要因は、半導体や電子部品の需給逼迫が続く中、独立系商社としての調達力の強みを活かして、広範な業界からの旺盛な需要を追い風にし、増収となりました。また、前期に買収いたしました、エクセルの海外子会社における決算期調整に係る増収効果もありました。

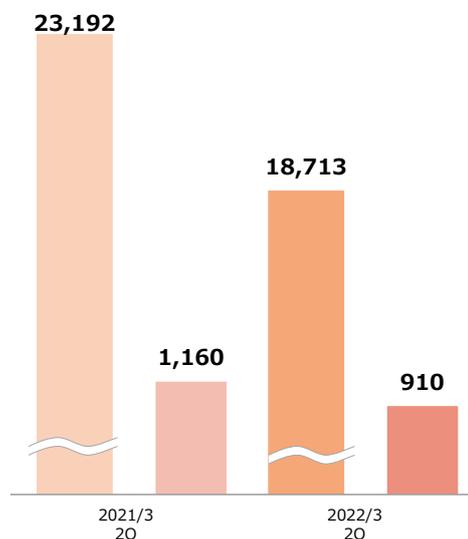
EMSビジネスは、車載関連や産業機械、医療向けなどが引き続き、好調に推移しました。

2022年3月期第2四半期：情報機器事業

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

前年比



- 売上高 ▶ ▲4,478百万円 19.3%減
- セグメント利益 ▶ ▲250百万円 21.6%減

・教育機関向けパソコンおよびセキュリティソフト等のPC周辺機器は、好調な販売を継続。

・法人向けPC販売が、リモートワーク需要の一巡や電子部品不足による製品供給難の影響を受け低調。

・LED照明機器、ネットワーク機器の設備設置ビジネスは、部品不足にともなう製品や資材などの納期遅延により工期延伸し減収。



続きまして、情報機器事業です。

売上高は44億7,800万円の減収、セグメント利益は2億5,000万円の減益でした。

要因は、教育機関向けパソコンおよびセキュリティソフト等のPC周辺機器は好調な販売を継続しました。しかしながら、法人向けパソコン販売が、リモートワーク需要の一巡や、電子部品不足による製品供給難の影響を受け、低調でした。

LED照明機器やネットワーク機器の設置ビジネスは、部品不足に伴う製品や、資材などの納期遅延により工期延伸し、減収となりました。

（単位：百万円）

	2021/3期 2Q実績		2022/3期 1Q実績		2022/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
売上高	104,729		105,949		117,059		11.8%	10.5%
売上総利益	11,643	11.1%	13,550	12.8%	13,582	11.6%	16.7%	0.2%
販売費及び一般管理費	8,864	8.5%	9,098	8.6%	9,733	8.3%	9.8%	7.0%
営業利益	2,778	2.7%	4,452	4.2%	3,848	3.3%	38.5%	▲13.6%
経常利益	2,804	2.7%	4,566	4.3%	3,885	3.3%	38.5%	▲14.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,128	2.0%	2,872	2.7%	2,752	2.4%	29.3%	▲4.2%
EPS (1株当たり四半期純利益)	77.53	—	104.55	—	102.48	—	—	—

8ページから13ページまでは、この第2四半期の実績値ならびに第1四半期の実績を、3か月単位で横並びで比較しています。一番左側が前年同期となっております。

（単位：百万円）

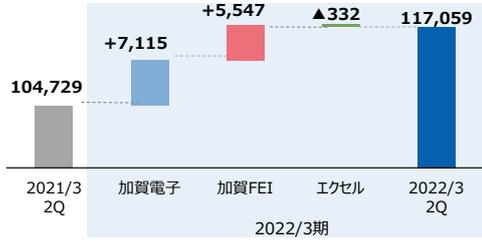
		2021/3期 2Q実績		2022/3期 1Q実績		2022/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	88,690		90,624		103,782		17.0%	14.5%
	セグメント利益	1,897	2.1%	3,699	4.1%	3,423	3.3%	80.5%	▲7.5%
情報機器	売上高	10,654		10,636		8,077		▲24.2%	▲24.1%
	セグメント利益	577	5.4%	568	5.3%	342	4.2%	▲40.8%	▲39.8%
ソフトウェア	売上高	783		568		669		▲14.5%	17.8%
	セグメント利益	131	16.8%	▲67	▲11.8%	▲42	▲6.3%	—	—
その他	売上高	4,600		4,120		4,530		▲1.5%	9.9%
	セグメント利益	137	3.0%	217	5.3%	103	2.3%	▲25.0%	▲52.4%
合計	売上高	104,729		105,949		117,059		11.8%	10.5%
	セグメント利益	2,778	2.7%	4,452	4.2%	3,848	3.3%	38.5%	▲13.6%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

(単位：百万円)

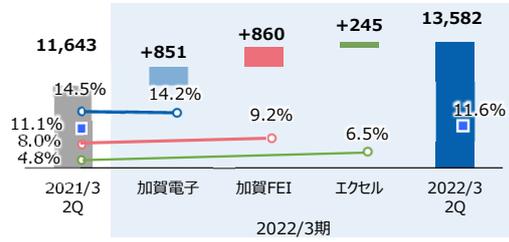
売上高

エクセルは前年並みも、加賀電子、加賀FEIが増収を牽引。



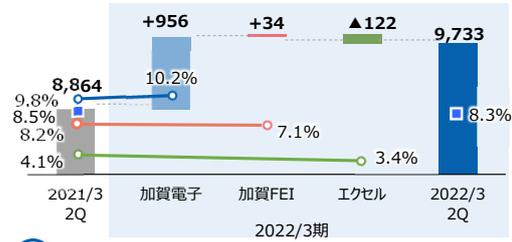
売上総利益 / 売上総利益率

売上高の増加および利益率改善により、3社ともに増益。



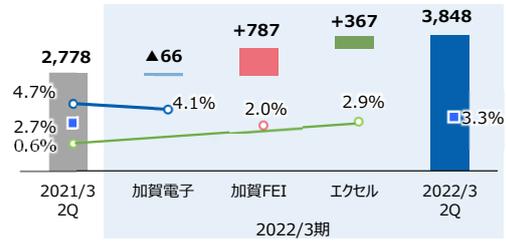
販管費 / 販管費率

加賀電子は売上増に伴い経費増も、連結販管費率は低下。



営業利益 / 営業利益率

加賀FEIが黒字転換するなど、収益改善のトレンド続き増益。



(注) 売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
 なお、連結調整額は売上総利益は▲20百万円、営業利益は▲14百万円です。

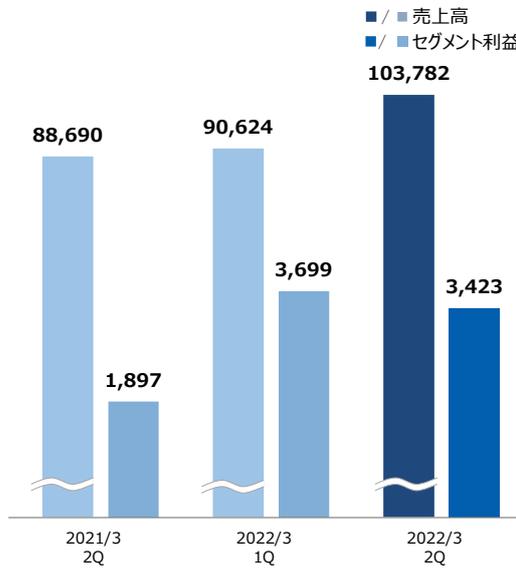
(単位：百万円)

		2021/3期 2Q実績		2022/3期 1Q実績		2022/3期 2Q実績		前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	58,041		60,115		65,157		12.3%	8.4%
	売上総利益	8,410	14.5%	9,588	16.0%	9,261	14.2%	10.1%	▲3.4%
	営業利益	2,749	4.7%	3,719	6.2%	2,683	4.1%	▲2.4%	▲27.9%
加賀FEI	売上高	30,548		32,145		36,095		18.2%	12.3%
	売上総利益	2,455	8.0%	3,009	9.4%	3,316	9.2%	35.0%	10.2%
	営業利益	▲65	▲0.2%	346	1.1%	721	2.0%	—	108.0%
エクスセル	売上高	16,139		13,688		15,807		▲2.1%	15.5%
	売上総利益	779	4.8%	1,079	7.9%	1,024	6.5%	31.5%	▲5.1%
	営業利益	91	0.6%	507	3.7%	458	2.9%	401.6%	▲9.6%
合計	売上高	104,729		105,949		117,059		11.8%	10.5%
	売上総利益	11,643	11.1%	13,550	12.8%	13,582	11.6%	16.7%	0.2%
	営業利益	2,778	2.7%	4,452	4.2%	3,848	3.3%	38.5%	▲13.6%

(注) 売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益



前年同期比

- 売上高 ▶ +15,091百万円 17.0%増
- セグメント利益 ▶ +1,526百万円 80.5%増

直前期比

- 売上高 ▶ +13,158百万円 14.5%増
- セグメント利益 ▶ ▲276百万円 7.5%減

(単位：百万円)

売上高・セグメント利益

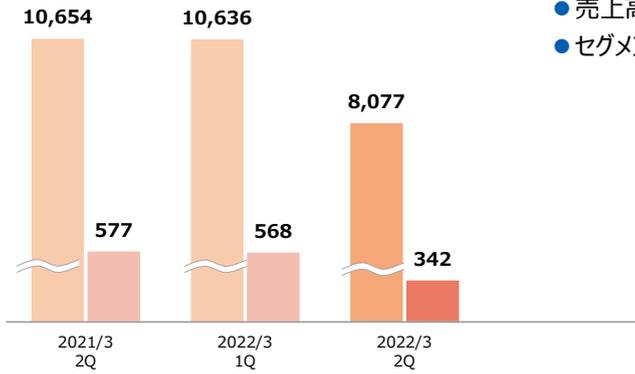
- / ■ 売上高
- / ■ セグメント利益

前年同期比

- 売上高 ▶ ▲2,577百万円 24.2%減
- セグメント利益 ▶ ▲235百万円 40.8%減

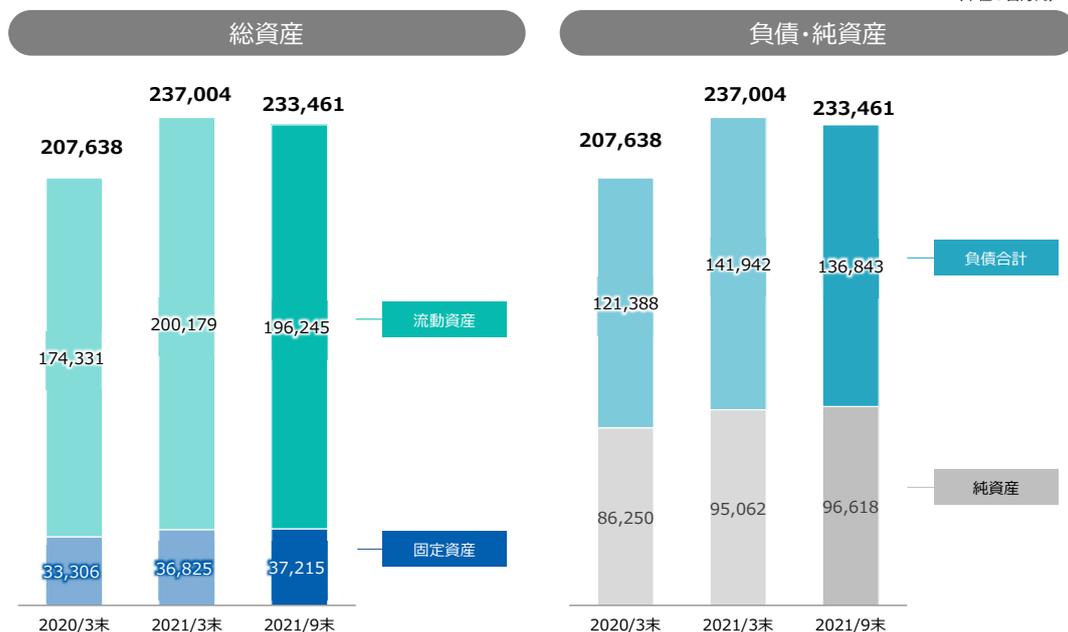
直前期比

- 売上高 ▶ ▲2,558百万円 24.1%減
- セグメント利益 ▶ ▲226百万円 39.8%減



貸借対照表主要項目

(単位：百万円)



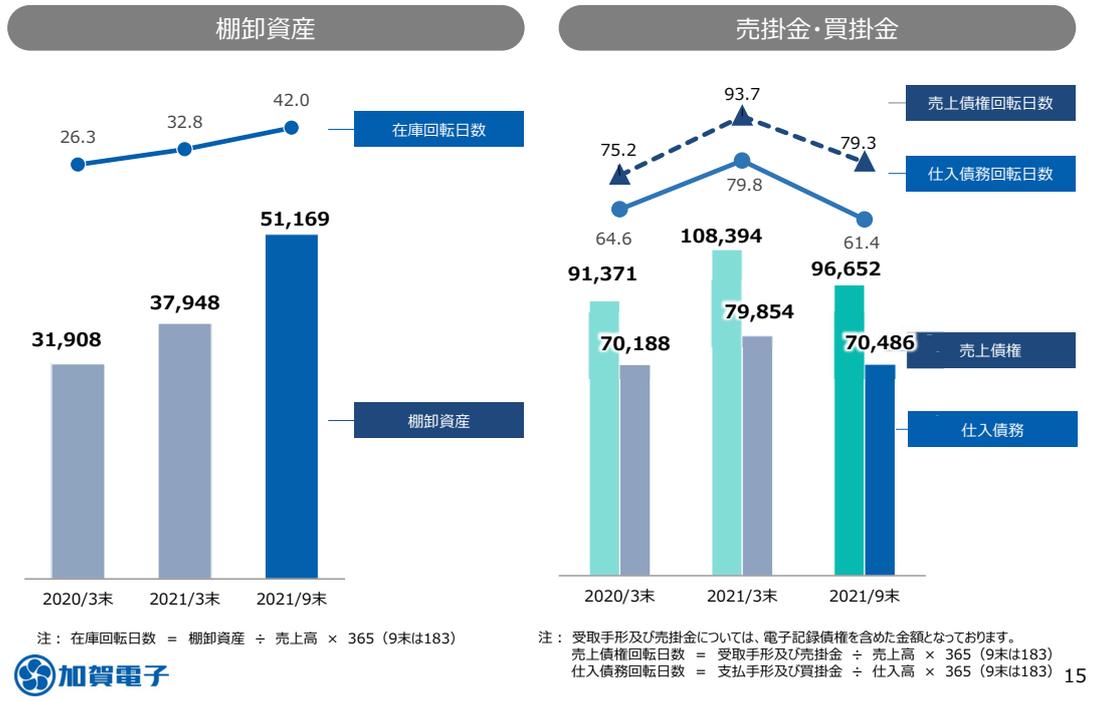
14ページでは、貸借対照表についてご説明申し上げます。

総資産の合計額は2,334億6,100万円となり、2021年3月期と比べますと、35億4,300万円の減少となりました。流動資産は1,962億4,500万円となり、39億2,400万円の減少。固定資産は372億1,500万円となり、3億9,000万円の増加となっています。

次に負債・純資産です。負債合計額は1,368億4,300万円となり、50億9,900万円の減少となっています。純資産は966億1,800万円となり、15億5,600万円増加しています。

貸借対照表主要項目

(単位：百万円、日)



続きまして、棚卸資産です。

2021年9月末残高は511億6,900万円となり、2021年3月期と比べると、132億2,100万円と、大きく棚卸資産が増加しています。

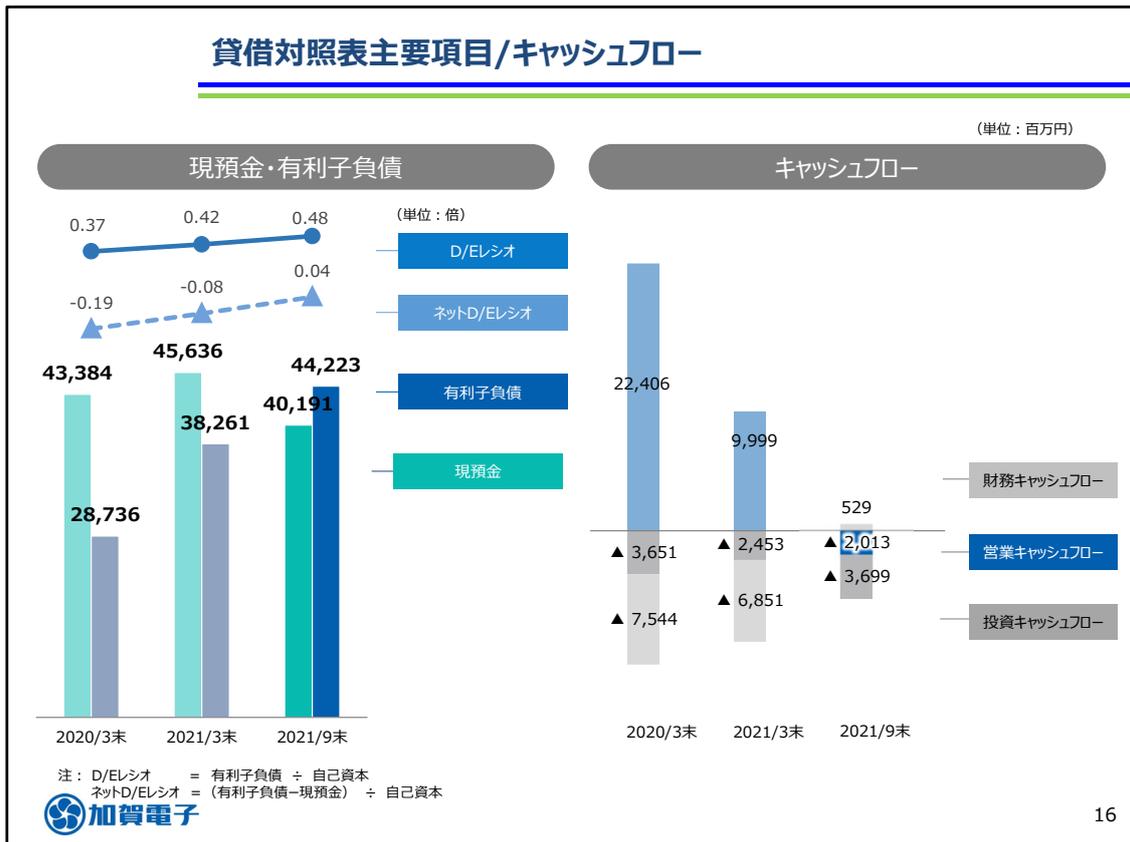
この要因は、電子部品の不足に伴い、主にEMSの海外工場において在庫積み増しをしたことが主な要因となっています。この結果、在庫回転日数も42日と、10日ほど延伸しています。

次に、売掛金・買掛金です。売上債権の9月末残高は966億5,200万円となり、2021年3月期とに比べると、117億4,200万円の減少となっています。

仕入債務は、704億8,600万円となり、3月期に比べ、93億6,800万円の減少となっています。

上の折れ線グラフは回転日数となっております。売上債権が79.3日、仕入債務が61.4日となり、ともに2021年3月期と比べると大幅に減少し、通常に戻っています。

貸借対照表主要項目/キャッシュフロー



続いて、現預金・有利子負債についてご説明申し上げます。

2021年9月末の現預金残高は、401億9,100万円となり、有利子負債の合計額は442億2,300万円となりました。

この結果、9月末はネットD/Eレシオがプラスに転じています。とはいえ、ほぼゼロに近い数字です。またD/Eレシオは0.48となっています。

続いて、キャッシュフローです。

営業キャッシュフローは、20億1,300万円の使用となりました。決算短信の説明では、法人税の支払いと記載がありますが、実質は、先ほど申し上げました在庫の積増しによって、利益を稼いだものが支出に転じた内容となっています。

投資キャッシュフローは、36億9,900万円の使用となり、こちらは有形・無形固定資産の購入によるものです。

財務キャッシュフローは、5億2,900万円の獲得となりました。こちらは借入金の増加と自己株の取得、配当金の支払によるものです。

2022年3月期業績予想

2022年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2021/3期 実績		2022/3期 前回予想		2022/3期 今回修正予想		前回予想 との差異	前年比	中期経営計画 経営目標
売上高	422,365		470,000 <small>(2021年5月13日公表)</small>		470,000		-	11.3%	500,000
営業利益	11,467	2.7%	13,000	2.8%	15,000	3.2%	15.4%	30.8%	13,000 2.6%
経常利益	11,241	2.7%	12,000	2.6%	14,500	3.1%	20.8%	29.0%	- -
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,399	2.7%	8,000	1.7%	9,000	1.9%	12.5%	▲21.1%	- -
EPS	415.07		291.20		336.84	-	-	▲18.8%	- -
ROE	13.5%		8.5%		9.7%	-	1.2pt	▲3.8pt	8.0%以上 -

注：2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。



続いて、2022年3月期の業績予想についてご説明申し上げます。
 今回の第2四半期の決算を受け、期末の業績予想を修正しました。
 売上高は4,700億円で据え置きのままとし、営業利益については150億円と、20億円ほど上方修正しました。
 経常利益は145億円と、25億円上方修正しています。また、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円と、10億円ほど上方修正しました。
 この結果、EPSは336円84銭となり、併せて配当を第2四半期、期末、それぞれ5円ずつ増配という内容で発表しました。この着地見通しにより、ROEは9.7%となる予定です。

2022年3月期業績予想 営業利益の上方修正について

(単位：百万円)



この業績予想における営業利益の上方修正の内訳は、上期の上振れ分として加賀電子グループが18億円、加賀FEIが7億円、エクセルが5億円となり、合計30億円の上期上振れとなりました。

しかしながら、部品が大変逼迫していますのでその機会損失、ならびに原油の高騰や輸送コストの上昇といったダウンサイドリスクを下期に10億円ほど織り込み、差し引き20億円の営業利益の上方修正としました。

2022年3月期 セグメント別業績予想

(単位：百万円)

		2021/3期 実績	2022/3期 前回予想		2022/3期 今回修正予想	前回予想 との差異	前年比	
		(2021年5月13日公表)						
電子部品	売上高	353,454	404,000		409,000	1.2%	15.7%	
	セグメント利益	8,151 2.3%	9,900 2.5%		12,300 3.0%	24.2%	50.9%	
情報機器	売上高	48,389	45,000		40,000	▲11.1%	▲17.3%	
	セグメント利益	2,482 5.1%	2,300 5.1%		2,000 5.0%	▲13.0%	▲19.4%	
ソフトウェア	売上高	2,932	3,000		3,000	—	2.3%	
	セグメント利益	263 9.0%	300 10.0%		200 6.7%	▲33.3%	▲24.0%	
その他	売上高	17,589	18,000		18,000	—	2.3%	
	セグメント利益	474 2.7%	500 2.8%		500 2.8%	—	5.5%	
合計	売上高	422,365	470,000		470,000	—	11.3%	
	セグメント利益	11,467 2.7%	13,000 2.8%		15,000 3.2%	15.4%	30.8%	

注：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。



20

最後に、セグメント別の業績予想の内訳です。

電子部品事業は、これまで売上は4,040億円と発表していましたが、こちらを50億円上方修正して、4,090億円。セグメント利益は、99億円と発表していたものを123億円と24億円上方修正しています。

情報機器は、上期実績を受け、50億円下振れの売上高400億円。セグメント利益は、3億円下振れの20億円としています。

また、ソフトウェアは、売上は横ばいとなりますが、利益は、1億円下振れの2億円と変更しています。

その他は、変更ありません。

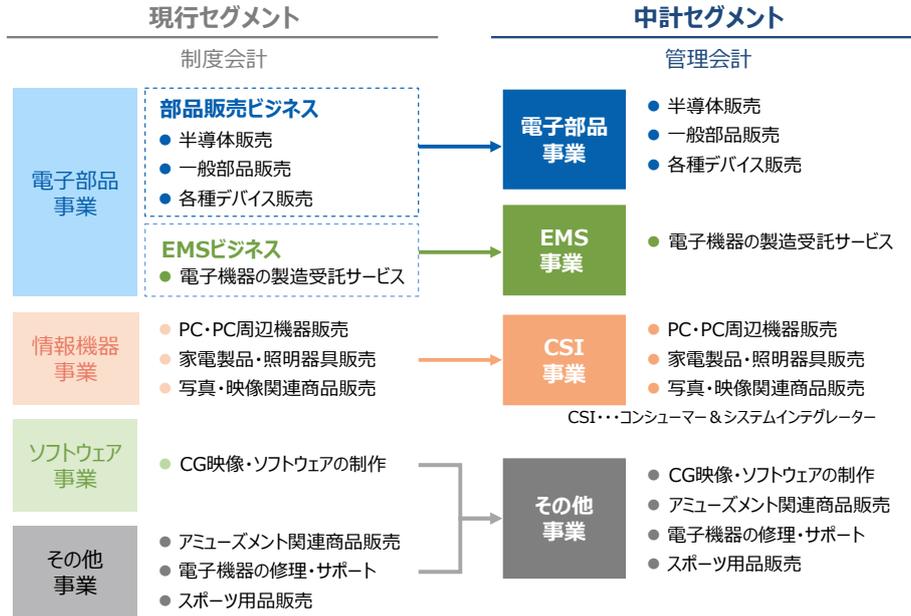
以上の内容によって、売上高は据え置き4,700億円、利益は、20億円増益の150億円となっています。

以上で、第2四半期決算の説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

參考資料

中計に沿ったセグメント開示に関して

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



	電子部品事業	EMS事業	CSI事業	その他事業
加賀電子株式会社				
電子事業部	●	●	(●)	●
EMS事業部		●		
通信事業部	●	●	●	(●)
特機事業部	●	●	(●)	●
営業推進事業部	●			
主な国内グループ会社				
加賀テック株式会社	●	(●)	(●)	(●)
加賀デバイス株式会社	●	●	●	●
加賀ソルネット株式会社			●	
イー・デー・デバイス株式会社	●			
加賀マイクロソリューション株式会社		●	(●)	●
株式会社デジタル・メディア・ラボ				●
加賀スポーツ株式会社				●
加賀アミューズメント株式会社				●
加賀テクノサービス株式会社			●	
加賀FEI株式会社 (旧：富士通エレクトロニクス株式会社)	●			
加賀EMS+和田株式会社		●		
株式会社エケセル	●			
旭東電気株式会社		●		
主な海外グループ会社				
加賀沢山電子 (蘇州) 有限公司		●		
加賀電子 (上海) 有限公司	(●)	●		
港加賀電子 (深圳) 有限公司		●		
KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED		●		
KAGA DEVICES (H.K.) LIMITED	●			
KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO., LTD	●	(●)		
KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED	(●)	●		
KAGA COMPONENTS (MALAYSIA) SDN.BHD.		●		
KAGA ELECTRONICS INDONESIA, PT	●	●		
KAGA ELECTRONICS (VIETNAM) CO., LTD.		●		
KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD	●	(●)		(●)
KAGA ELECTRONICS (USA) INC.	●	●		
TAXAN MEXICO S.A. de C.V.		●		
KD TEC s.r.o.	●	●		

(単位：百万円)

		2021/3期 2Q実績		2022/3期 2Q実績		前年比
電子部品	売上高	117,287		144,790		23.4%
	セグメント利益	851	0.7%	3,948	2.7%	363.4%
EMS	売上高	42,940		53,453		24.5%
	セグメント利益	2,265	5.3%	3,322	6.2%	46.6%
CSI	売上高	23,192		18,713		▲19.3%
	セグメント利益	1,160	5.0%	910	4.9%	▲21.6%
その他	売上高	5,438		6,052		11.3%
	セグメント利益	88	1.6%	64	1.1%	▲26.8%
合計	売上高	188,859		223,009		18.1%
	セグメント利益	4,434	2.3%	8,300	3.7%	87.2%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

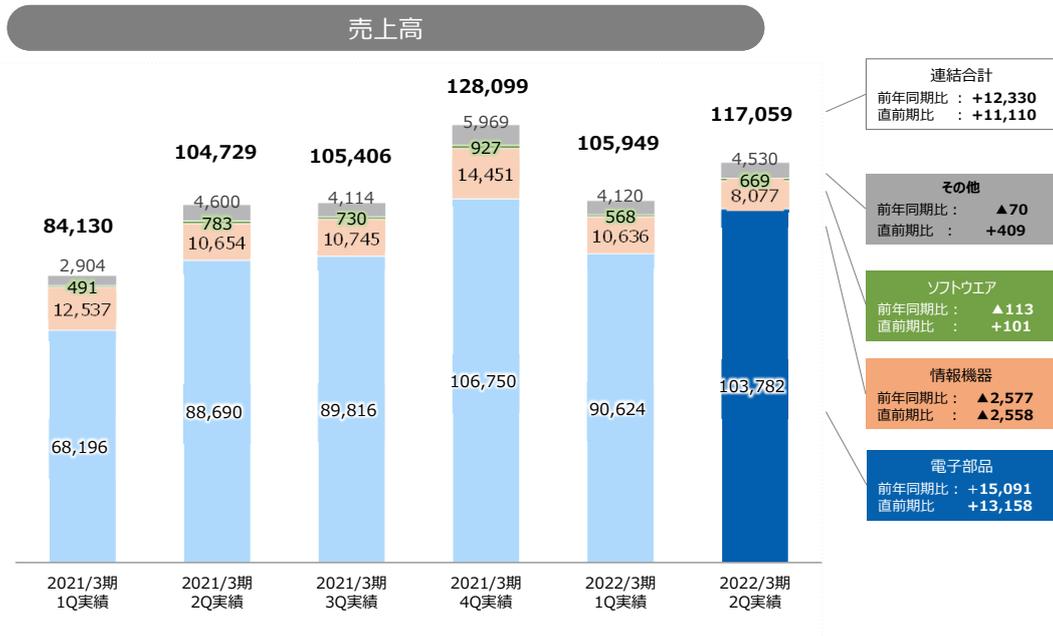
(単位：百万円)

		2021/3期 2Q実績	2022/3期 1Q実績	2022/3期 2Q実績	前年 同期比	直前期比
電子部品	売上高	67,547	66,124	78,665	16.5%	19.0%
	セグメント利益	807 1.2%	1,775 2.7%	2,172 2.8%	169.2%	22.4%
EMS	売上高	23,120	26,334	27,118	17.3%	3.0%
	セグメント利益	1,181 5.1%	2,060 7.8%	1,262 4.7%	6.8%	▲38.7%
CSI	売上高	10,654	10,636	8,077	▲24.2%	▲24.1%
	セグメント利益	577 5.4%	568 5.3%	342 4.2%	▲40.8%	▲39.8%
その他	売上高	3,406	2,854	3,198	▲6.1%	12.0%
	セグメント利益	177 5.2%	14 0.5%	49 1.6%	▲71.8%	245.0%
合計	売上高	104,729	105,949	117,059	11.8%	10.5%
	セグメント利益	2,778 2.7%	4,452 4.2%	3,848 3.3%	38.5%	▲13.6%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

セグメント別売上高四半期推移

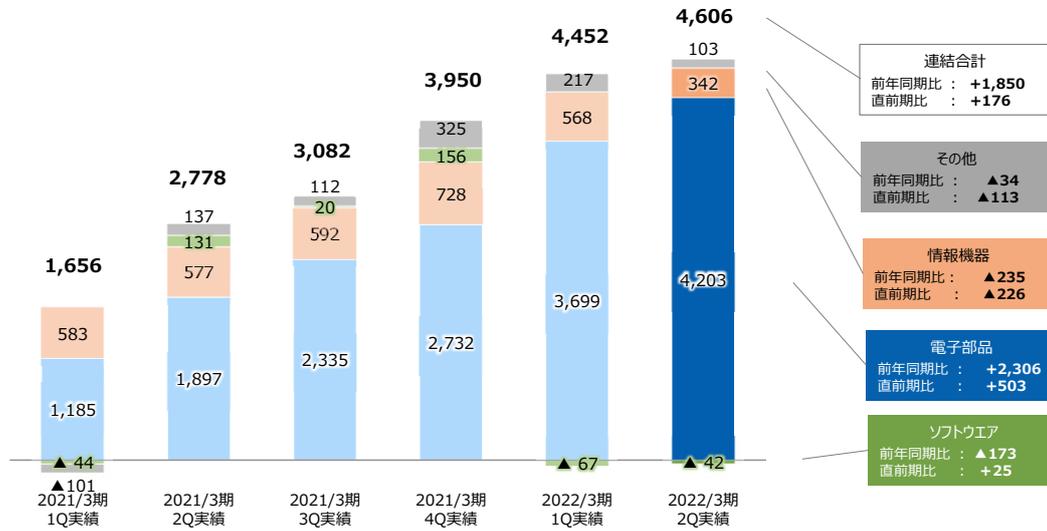
(単位：百万円)



セグメント別営業利益四半期推移

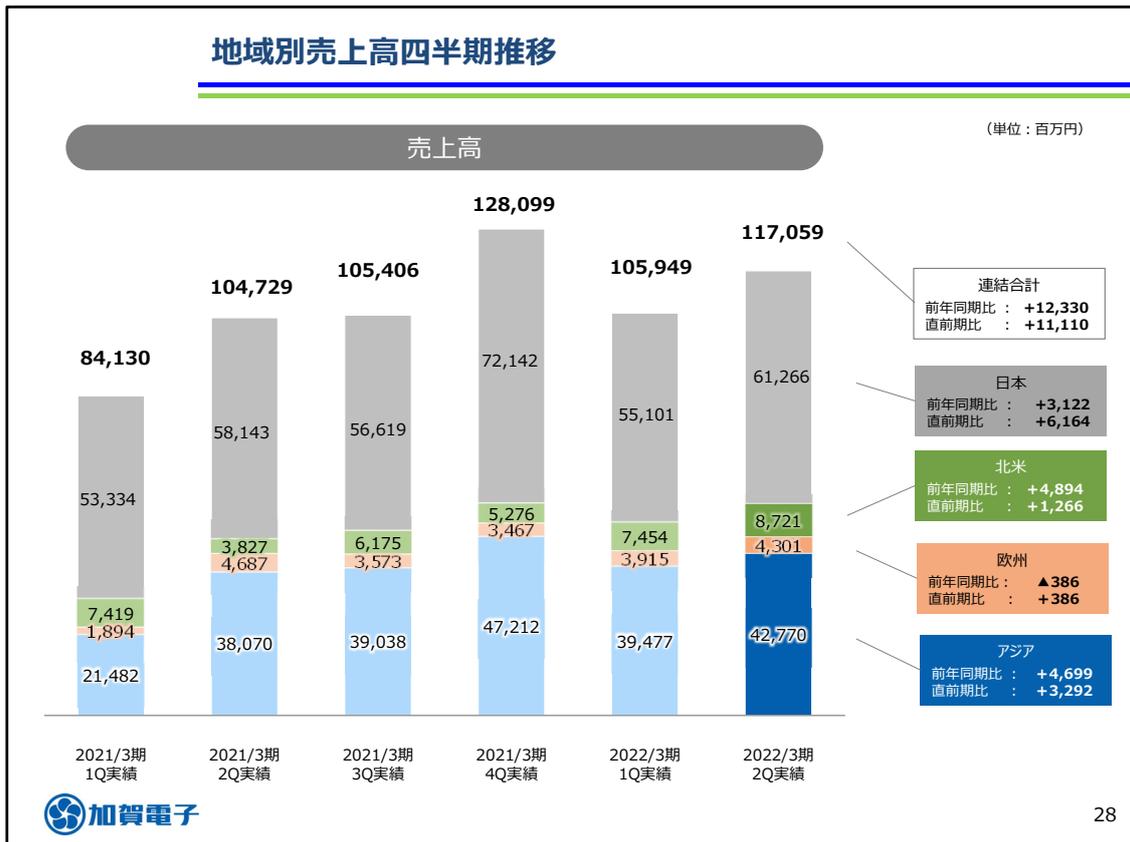
セグメント利益・営業利益

(単位：百万円)



注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

地域別売上高四半期推移



為替レート/為替感応度

	2021/3期 2Q実績 (円)	2022/3期 2Q実績 (円)	1%変動による影響額 (百万円)		2022/3期 前提 (円)
			売上高	経常利益	
米国ドル	106.92	109.80	588	18	110.50
タイバーツ	3.38	3.42	115	7	3.50
人民元	15.39	16.66	112	4	17.00
香港ドル	13.80	14.13	107	3	14.00

『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報室

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入